

道徳アンケート結果分析

1学年	2学年	3学年
<p>1学期 分析</p> <p>「1. 道徳の勉強は好きですか」に対して、否定的な回答をしている児童が計5名、「5. 道徳の勉強は自分の役に立ちますか」に対して否定的な回答をしている児童が計8名いた。ほとんどの児童が道徳に対して前向きではあるが、2学期の分析結果を改善する必要がある。</p> <p>道徳が好きな理由として「教科書を読む」と回答している児童が多い。その一方で苦手な理由として「教科書を読む」と回答している児童が多い。教科書の話の流れ・登場人物の心の葛藤する場面が捉えられるように一つ一つ丁寧に確認していく。</p> <p>「6. 良いことをすすんでしている」に対する否定的な回答が多い。この設問をはじめ、否定的な回答をすべてマイナスに受け止めるのではなく、児童が自覚していて否定的な回答をしている、もしくは、自信が無くても否定的な回答をしていると捉える。すると、道徳の授業や学校生活を通して、児童の好ましい変容を教師が見取り、肯定的な声掛けをしていったり、友達同士で認め合ったりするような活動を意図的にしていくことが大切だと考える。</p> <p>道徳の授業の研究と充実はもちろん、道徳の授業と関連した日々の様子の見取りや指導、声掛けにも、より一層力を入れていく。</p>	<p>1学期 分析</p> <p>設問1「道徳の勉強は好きですか」に対して否定的な回答が20名見られた。</p> <p>また、設問2「登場する人の気持ちをどのように考えるのが好きですか」の回答に対して「友達の考えを聞く」の回答が16名いた。否定的な回答の児童の中には自分の考えに自信が持てないと答えた児童も多く、ワークシートに書いたり、交流したりする活動を組み合わせながら多様な考えをもつことができるように授業をつくっていくことで改善を図りたいと考える。</p>	<p>1学期 分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習が好きであると肯定的な児童が7割程度いるが、否定的な意見も1割いる。 ・教科書の話を読んだり、自分の考えを発表することは、道徳が好きではないと答えた児童も肯定的である。道徳が好きではないと回答した児童は、ワークシートへの記入や友達や先生の話聞くのが苦手という回答が多くあった。 →ワークシートの記入欄を絞り、発問をわかりやすくする。教師が話す時間を短くし、友達との話し合い時間を増やす。 ・アンケートの結果から、友達や家族を大切にしたり、ルールを守ることができていると回答した児童が多かったが、規則正しい生活など自己についての質問には、厳しい回答が多い。
<p>4学年</p> <p>1学期 分析</p> <p>道徳が好きではない理由として、「自分の考えを発表する」が一番多い。日頃から、挙手して発言することが苦手な児童が多いので、自分の考えを伝えることにも抵抗があると考えられる。</p> <p>道徳授業は7割が好きと回答し、8割が役に立つと回答している。なにかしらの必要性や面白さを感じている考えられる。</p> <p>言葉遣いや、友達の関係に否定的な意見の割合が多い。友人関係が円滑にすまない経験が多くあるのかもしれない。</p>	<p>5学年</p> <p>1学期 分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業が好きと回答した児童が約8割、役に立つと回答した児童が約8割いた。このことから、児童にとって、道徳の授業がそれぞれに生かされている部分が多いと考える。 ・発問に対して考えていく上で、友達と話し合ったり、考えを聞いたりすることが好きと回答した児童が多かった。一方で、道徳の授業が好きではない理由として、自分の考えを発表することが好きではないという項目が一番多かった。ワークシートに書いたり、交流したりする活動を組み合わせながら多様な考えをもつことができるように授業をつくっていくことで、児童の学びがより充実していくと考える。 ・全ての設問において、肯定的な回答が約8割を越えていた。今後も前向きな生き方に繋がるように授業を進めていくことで、益々児童の心が豊かになると考える。 	<p>6学年</p> <p>1学期 分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業は7割が好きと回答し、8割が役に立つと回答している。何かしら直接生活に役立つ知識や技能が身に付いているものと考えられる。 ・劇、話し合いなど、考えたことを友達と交流したい、発言したいと思っている児童が多い。授業ではワークシートに書いて終わりにしないで、交流も行うようにする。 ・教科書の話を読むことが好きな児童が多い。 ・ワークシートに書くことは、好き嫌いがちょうど半分に分かれる。 ・ほとんどの児童が家族のことが好き、命を大切にしていると回答している。頑張っていることがあるとも答えており、愛情豊かに育てられていることがうかがえる。一方、規則正しい生活はできていない様子。

学校全体所見(1学期)

学校全体では、どの学年も道徳は好きな授業だと、肯定的に捉えている児童が多い傾向にある。道徳を苦手としている理由に発表することが苦手とする児童がおり、意見を交換するときには交換しやすい場を設定する必要がある。